

農業生産の発展 生活の向上(農民)・財政の安定(幕府・藩) ←太平の世

小規模家族(夫婦中心)による零細な農業経営

① **新田開発** の進行…耕地面積の増大(2約160万町歩→約300万町歩) 新田は数年間は免税

- 3 **代官見立新田**…天領の代官が自ら開発 前期に多い
- 4 **町人請負新田**…商人資本 <例>川口新田(摂津)、**鴻池新田**(河内)

ほかに、藩営新田、土豪開発新田、村請新田など

治水・灌漑の発達 <例>5**箱根用水**、6**見沼代用水**、玉川上水、大和川改修

② **商品作物の栽培** →各地で特産物に

- 7**四木**…8**桑**(養蚕→生糸→絹)、9**楮**(和紙)、10**漆**(漆器)、11**茶**(12山城・宇治など)
- 13**三草**…14**紅花**(赤の染料：15出羽など)、16**藍**(青の染料：17阿波など)、18**麻**(衣料)

その他 <例>19**木綿**(朝鮮から持ち帰った種子→衣料の主流 20河内・三河・尾張)

21**菜種**(22水油の原料：中世の荏胡麻にかわって普及)、23**砂糖**(奄美大島)、

24**煙草**、25**蘭草**(畳表：26備中)、27**櫨**(はぜ：ロウの原料)など

③技術の進歩

農具 28**備中鍬**…より深く耕す ※従来の鍬(平鍬)は土寄せなどに

29**千歯扱**…脱穀(稲から^{もみ}扱へ) ※従来の^{こきばし}30**扱き箸**(別名「後家倒し」)にかわる

31**唐箕**…玄米・^{もみ}扱殻を選別 ※従来の箕(み)にかわる ← 大幅な作業効率の改善

34**千石筵**…米の穀粒の大小を選別 ←

35**踏車**…水を揚げる ^{からざお}36**穀笮**(麦などをたたいて脱穀)、37**唐臼**(精米)、など

肥料 38刈敷・厩肥が基本…入会地から取得 耕地の増加により不足していく

→39**金肥**(購入肥料)も使用…商人との取引 ※都市周辺では下肥が重要

<例> 40**干鰯**(主に東国 九十九里浜などで採れたイワシから)、

41**油粕**(主に西国。菜種や綿実から)、^{しめかす}42**粕**(魚や胡麻などの絞りかす)、^{にしん}43**鯨粕**

※鯨油…^{じよこうざい}除蝗剤(虫害対策)として購入

④農書の発達…農業技術の解説

<例> 『43清良記』(1628年頃：土居^{すいや}水也(伊予))

44**宮崎安貞**(筑前)…元禄期 『45**農業全書**』(1697：商品作物を重視)

46**大蔵永常**(豊後)…江戸後期 『47**農具便利論**』(1822) 『48**広益国産考**』(1859)

ほかに『百姓伝記』、『会津農書』、『49老農夜話』(1843 千歯扱や唐箕を紹介)

諸産業の発展 ※「日本山海名産図会」(1799)…各地の珍しい名産物を紹介

A. 水産業 50 **上方漁法** の普及…^{じびきあみ}51 **地引網**や^{ていちあみ}52 **定置網**・^{ふなびきあみ}船曳網などを使う大規模漁法
 ……^い撰津・和泉・紀伊 ^え53 **網元**・**網子経営**

<例>54 **鱒** (55 **九十九里浜**)、56 **鯿**・57 **昆布** (蝦夷地)、58 **鯨** (紀伊・土佐・肥前)、59 **鯉** (土佐)

60 **俵物** (61 **いりこ**・**ほしあわび**・**ふかひれの俵詰め**)…東北の産物→清へ輸出

製塩 62 **揚浜式**から63 **入浜式** (潮の干満を利用)へ

瀬戸内10国で8～9割(十州塩) <例> 64 **播州赤穂**、**阿波撫養**、**讃岐坂出**

B. 林業 <例> 65 **木曾檜**、66 **秋田杉**・吉野杉・熊野杉、炭(撰津池田、紀伊備長)

C. 鉱業 中心は金銀から銅へ 露天掘りから坑道法へ ^{はいふき}67 **灰吹法** (銀の製錬：石見銀山から)

金：68 **佐渡相川**、69 **伊豆** 銀：70 **但馬生野**、71 **石見大森**

銅：72 **下野足尾**、73 **伊予別子** (→住友)、^{おさりざわ}74 **尾去沢** (秋田)

鉄：75 **出雲** (76 **砂鉄**：77 **たたら製鉄法**)、78 **釜石鉄山**、79 **石炭** (北九州)・石油(越後)も

E. 手工業 ←商品作物の栽培、専門職人の増加、都市需要の増加、諸藩の国産奨励

80 **農村家内工業**から81 **問屋制家内工業**へ

……^じ自給自足的 ……^し問屋商人が原材料や器具を貸す 18世紀以降

①織物 **絹** 82 **西陣織** (京)→83 **桐生絹** (上野)→84 **足利絹** (下野) ※85 **高機** (新技術)が伝来
 ……ほかに、^{ちりめん}86 **丹後縮緬**、^{つむぎ}87 **伊勢崎絹** (上野)、88 **上田紬** (信濃)

綿 89 **久留米絣**、90 **小倉織**、**麻** 91 **越後縮**、92 **奈良晒**、93 **近江晒**、**薩摩上布**

②陶磁器 94 **京焼** (95 **清水焼**など)、96 **九谷焼** (加賀)、97 **有田焼** (肥前：別名「伊万里焼」)

③漆器 98 **輪島塗** (能登)、99 **会津塗**、^{しゅんけい}100 **春慶塗** (飛騨など)、**南部塗** (陸奥)

④醸造 **酒** 101 **灘**、102 **伊丹**、103 **伏見**、池田 **醤油** 104 **野田**・105 **銚子**、**竜野**

⑤製紙 106 **美濃紙**、107 **鳥ノ子紙**・**奉書紙** (越前)、^{すいばら}108 **杉原紙** (播磨)、109 **檀紙** (讃岐) ※^{ながしすき}流漉の技術

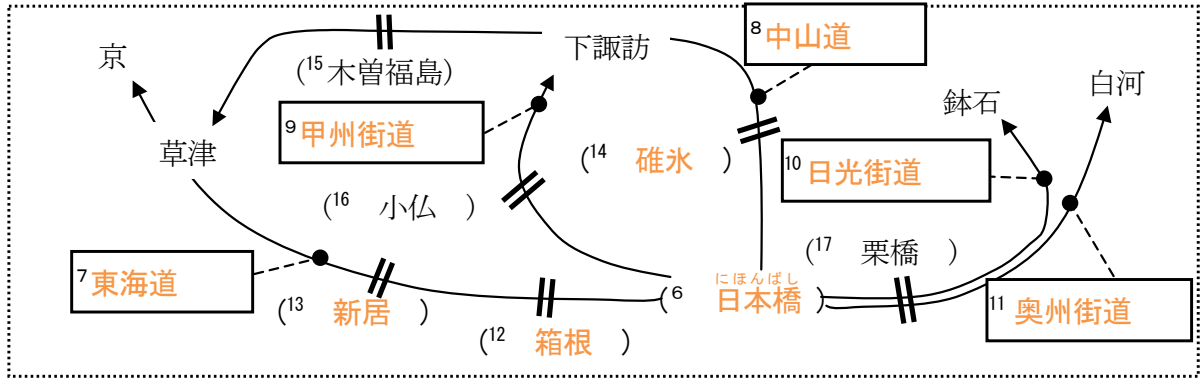
⑥その他 110 **越中の薬** (富山)、111 **備後の畳表**、
 京・加賀の^{ありまつしほり}105 **友禅染**、尾張の^{かや}106 **有松絞** (藍染)、**近江蚊帳** などなど

【正誤問題に挑戦】<センター1991本試験、1993本試験より>

- ①宮崎安貞の『農業全書』，大蔵永常の『農具便利論』などの農書によって，栽培技術や農業知識が広まった。
 ②近世を通じて城郭建築が建築資材の需要を高め，秋田の檜，木曾の杉など各地の林業を発展させた。

陸上交通の発達

- 街道 1 五街道 下図 …幕府直轄 2 道中奉行(大目付・勘定奉行から各1名が兼任)の支配
 3 脇街道(脇往還)… 4 北国街道・中国街道(山陽道)・山陰道・伊勢街道・佐渡路など
 5 一里塚の設置… 1里(4km)間隔



18 関所(||) 19 政治・軍事的…手形が必要 江戸の防衛・大名の妻子の監視 “^{いりてっぽう}入鉄砲に^{でおんな}出女”
 ※架橋しない川(軍事上の理由) <例> 21 大井川、安倍川 …川越人足 天竜川…渡船

「箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川」

22 宿場 (宿駅) … 2 ~ 3里毎に宿泊施設 一定数の人足・馬(伝馬)を配置

24 本陣 ・ 25 脇本陣…大名や役人 26 旅籠 ・ 27 木賃宿 …一般民衆

28 問屋場 …人馬継立など事務を担当

不足分は周辺の^{てんまやく}29 伝馬役(常時)や^{すけごうやく}30 助郷役(臨時追加)で補う

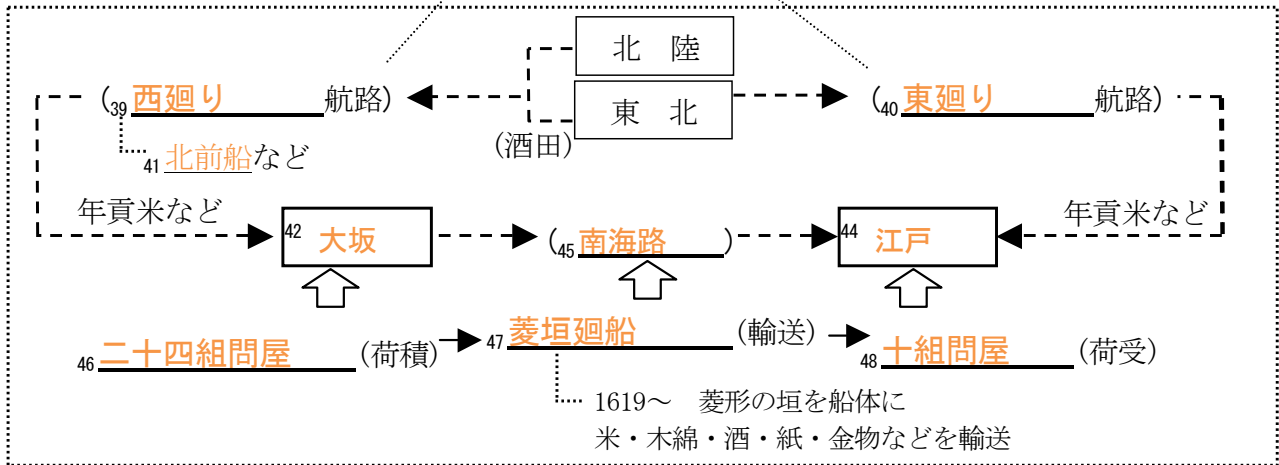
飛脚制度 31 町飛脚(民営)・ 32 大名飛脚(大名)・ 33 継飛脚 (幕府の公用)

34 飛脚問屋が運営 「三度飛脚」(月3回 東海道を6日で 定六・^{じょう}定飛脚とも)

水上交通 ※物資の大量輸送に便利 →³⁵廻船(大型船)の発達

河川 ³⁶角倉了以(京の豪商)、幕命で³⁵富士川・³⁶高瀬川・³⁷保津川などに水路
他にも、淀川・利根川(流路を変更)、最上川などは重要

海上 幕府の命令で、材木商³⁸河村瑞軒(賢)が開拓(17世紀後半)



1730. 十組問屋から⁴⁹酒問屋が独立→⁵⁰樽廻船 (船足が早い)が輸送

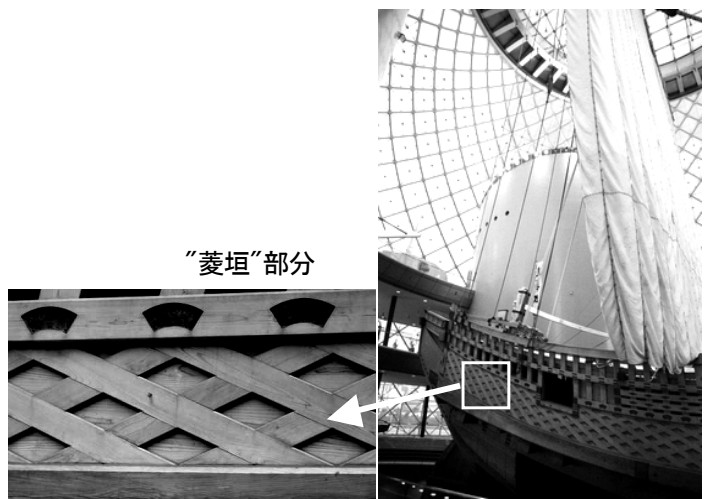
※徐々に菱垣廻船を圧倒

☆⁵¹三都の発達

- ・⁵²江戸…100万人 将軍の城下町 明暦の大火で市街再編成 後期に繁栄 「八百八町」
- ・⁵³大坂… 35万人 商業都市(⁵⁴天下の台所) 諸藩の蔵屋敷 中期に繁栄 「八百八橋」
- ・⁵⁵京都… 40万人 皇居の所在地 美術・工芸文化 「八百八寺」

※⁵⁶上方…大坂・京都を含む近畿地方を指す言い方 ☆江戸へ送られる商品は「くだり物」

このほか、名古屋(尾張徳川家)、金沢(加賀前田家)など城下町が発展



「なにわの海の時空館」の実物大

【正誤問題に挑戦】<センター1996追試験、1997日本試験、より>

- ①17世紀の中ごろ、江戸と京都・大坂との間に民間の文書・荷物を運ぶ**継飛脚**が公認され、次第に全国各地に普及した。
- ②東廻り航路によって、東北地方の米を、大坂を経ずに、江戸に運ぶことができるようになった。○

商業と流通

[月 日]

A. 商人の分化…¹**問屋** (問丸から発展) ・ ²仲買^{なかがい} ・ ³小売へ分化

荷受問屋(荷物の保管・委託販売)から仕入問屋(積極的に仕入・販売)へ発展

⁴**仲間** (同業者組合)を結成…独占をねらう 当初は禁止

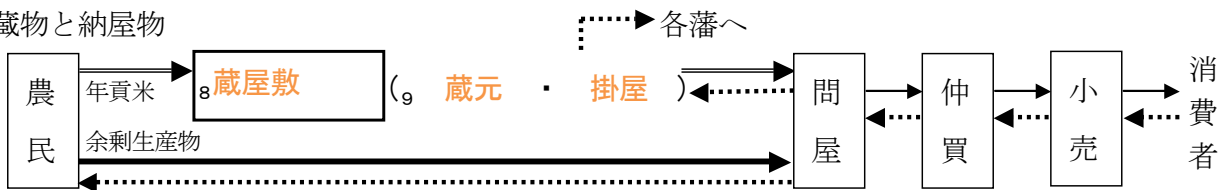
次第に一部公認(商工業統制、物価統制)→公認拡大(営業税徴収)へ

〈例〉⁵**二十四組問屋**(大坂・積荷 1784.公認)、⁶**十組問屋**(江戸・荷受 1813.公認)

幕府から営業独占権を認められた仲間を、特に⁷**仲間**という

B. 流通

①蔵物と納屋物



★ \Rightarrow ¹⁰**蔵物**の流れ \Rightarrow ¹¹**納屋物**の流れ \cdots 金の流れ

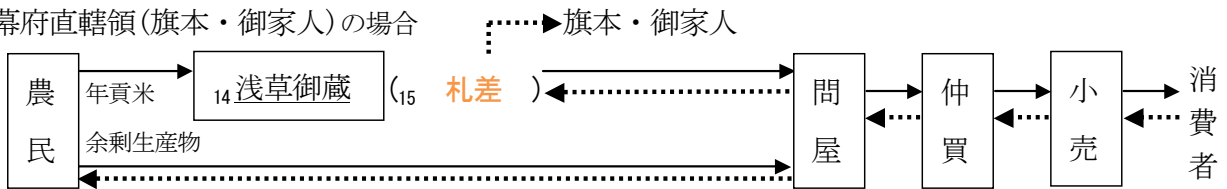
くらもと

☆ ¹²**蔵元**…蔵屋敷で蔵物を保管・売却 当初は武士→豪商(武士待遇)

かけや

¹³**掛屋**…売却代金の保管・送金 豪商(武士待遇) 蔵元と兼ねる者も多い

②幕府直轄領(旗本・御家人)の場合



ふださし

☆ ¹⁶**札差**…旗本・御家人の蔵米の受け取り・売却 金融 蔵前で「蔵宿」を営む

C. 行商人の活躍 〈例〉近江商人、富山の売薬商人

市場の繁栄 〈例〉大坂：¹⁷**堂島米市場**、¹⁸雑俵場魚市場、¹⁹天満青物市場

江戸：²⁰日本橋魚市場、²¹神田青物市場

貨幣と金融 ☆江戸の金遣い・大坂の銀遣い

A. 貨幣制度…幕府、鑄造権を独占 24慶長金銀が最初(1601)

金貨：25金座 26後藤 家(27後藤庄三郎)

28計数貨幣 29 1両 = 4分 = 16朱

<例>30大判(額面10両：贈答用)、31小判(1両)、
一分金、二朱金など

銀貨：32銀座 33大黒 家(34大黒常是) 35秤量貨幣

銭1貫目=1000 匁 金1両=銀50 匁 (変動)

<例>36丁銀 (40匁前後)、37豆板銀 ※のち計数貨幣も登場

銭貨：38錢座 (民間請負) 計数貨幣 1貫文=1000文 39金1両=銭4貫文

<例>40寛永通宝 (1文、のち4文も)、天保通宝(100文) ※全国で使用

41三貨…統一貨幣 ※度量衡も統一…秤座・枡座

紙幣 42藩札 …藩が発行 領内に限定して流通した紙幣 藩財政の窮乏を補う

私札…民間(商人)発行の紙幣

B. 43両替商 の活躍…三貨間の両替・秤量、預金・貸付・為替、公金の出納

44本両替…金銀の交換 蔵元・掛屋を兼業 45十人両替(大坂)を選出 <例> 天王寺屋、平野屋

46銭両替(銭屋)…金銀と銭との交換 庶民対象

有力商人の登場

初期…材木商・47大名貸 などで巨利、早く没落

<例>48紀伊国屋文左衛門(紀文：江戸)、奈良屋茂左衛門(奈良茂：江戸)…材木で巨利

49淀屋辰五郎(大坂)…蔵元 贅沢を理由に財産没収(大名の救済?)

中期以降 →近代の財閥へ

<例>50三井 家(松坂)…呉服店、両替商、大名貸 創業者三井高利

… 51越後屋 …「現金掛値なし」の新商法 →現在の三越

52住友 家(大坂)…屋号は泉屋 両替商、蔵元、53別子銅山

54鴻池 家(大坂)…酒造(伊丹)、海運、両替、大名貸、掛屋、新田開発

【正誤問題に挑戦】<センター1992本試験、1997A追試験より>

- (1) 旗本・御家人の俸禄米を取り扱う、掛屋と呼ばれる商人が成長した。
- (2) 住友家は、江戸で越後屋呉服店を開き、「現金掛け値なし」の新商法を取り入れて成功した。

幕府・諸藩の財政難と対応策

収入の停滞（新田開発とその限界）と支出の増大→財政難→改革の必要性

- (a) 支出の削減→家臣の俸禄を削減…1借り上げ(^{しゃくち}2借知)の増加 ※^{はんち}3半知(半減)の場合も
→家臣の生活難 ※旗本も深刻…内職、札差から借金、4御家人株の売却(養子縁組)など
- (b) 農村への規制と収奪強化
- (c) 物価調整と商業発展の抑制 <例> 5 **儉約** の奨励・強制

享保の改革

6 **吉宗** 8代 1716～45. 7代家継は子がないまま没→7 **紀州**藩主から将軍へ

- ☆ 8 **享保** の改革 (9 1716～45)…家康を目標(鷹狩・水練など武芸奨励) 側用人政治の否定
人材登用<例> ^{おぎゅうそらい}10 荻生徂徠、^{むろきゅうそう}11 室鳩巢(儒者)らを重用
12 田中丘偶…治水事業 川崎宿の本陣名主→代官へ 『民間省要』

A. 旗本保護・財政改革

- ① 13 **相对济し令** (1719)…旗本・御家人の金銀貸借訴訟を受理しない(当事者間で処理)
旗本・御家人の救済、訴訟事務の簡素化 →以後の金銭借用が困難に →1729. 緩和
- ② 14 **上米** (1722)…大名の知行 15 **1万石につき百石上納**、16 参勤交代の在府を半年に
→一定の効果(年187,000石) →1731. 廃止
- ③ 17 **足高** の制(1723)…在職中のみ役職に見合った俸禄(石高)を与える制度(従来は加増した)
経費節減・人材登用 <例> 18 **大岡忠相** (町奉行)、松平乗邑(老中)^{のりむら}
- ④ 19 **儉約令**(1724) ※大奥も縮小

B. 農村対策

- ⑤ 20 **質流地禁止令(質流れ禁令)** (1722)…田畑の質流しを禁止→本百姓経営の維持をはかる
→出羽・越後で 21 **質地騒動**(農民が質地返還を要求)などの混乱 →1723. 撤回
- ⑥ 22 **新田開発**の奨励…特に商業資本の導入(23 **町人請負新田**)
- ⑦ 税の徴収法の転換(年貢増徴)…24 **定免法**の採用、税率を 25 **五公五民**に →農民生活の圧迫
※勘定奉行神尾春央 ^{はるひで} 26 **胡麻の油と百姓は絞れば絞るほどでるものなり**

C. 物価・米価の調整→いずれも不成功

※吉宗は「27 **八木 将軍**」**米公方**と呼ばれた ※米の増産→米価の下落→財政難の悪循環

- ⑧ 28 **株仲間を公認**(1721・1726)…物価調整、運上・冥加徴収
- ⑨ 29 **堂島米市場を公認**(1730)…米価の調節
- ⑩ 貨幣改鑄…物価調整 享保金銀(良貨)・元文金銀(悪貨) →混乱

D. その他

①³⁰漢訳洋書の輸入制限の緩和(1720)…キリスト教に関係のないものは認める

³¹青木昆陽(儒者)・³²野呂元丈(本草学者)にオランダ語を学ばせる→『阿蘭陀本草和解』(野呂^{おらんだ})

② 各種農作物の作付奨励…飢饉対策や輸入の削減

〈例〉³³甘藷…サツマイモ ³⁴青木昆陽(儒者)『蕃薯考』

³⁵甘蔗…サトウキビ 落合孫右衛門の進言 ³⁶朝鮮人参…強壯剤に 朝鮮から輸入

③ 民政の充実 〈例〉³⁷目安箱の設置(1721)…投書箱、幕政への不満の解消

→³⁸小石川養生所 や³⁹町火消(いろは四十八組)の設置 ※大岡忠相の活躍

…小石川薬園内 医師小川^{しょうせん}笙船 貧民救済

④ 法典の整備 〈例〉『⁴⁰公事方御定書』(1742)…過去の判例を集めて成文法に

…上巻(刑事・行政)・下巻(刑法:「⁴¹御定書百箇条」)

連坐の廃止など 大岡忠相中心に編纂

『⁴²御触書寛保集成』(1744)…法令集 以後も追加

結果

①幕政緊縮に成功 ②財政の安定 1735. 黒字 1744. 年貢収入高は最高に

③社会の動揺 〈例〉米価の変動、百姓一揆、⁴³打ちこわし(江戸では初)

※⁴⁴御三卿…吉宗の子(⁴⁵田安宗武・⁴⁶一橋宗尹^{ただ})・孫(⁴⁷清水重好) 江戸城内に邸宅

【正誤問題に挑戦】〈1997B本試験より〉

- (1) 徳川吉宗が登用した青木昆陽は、甘藷の栽培にあたり、オランダ語を学んだりした。○
- (2) 幕府は広く人材を集めることを目的に、庶民が有能な人材を推薦する目安箱の制度を設けた。